

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-01-01		
施設名	あらかわエコセンター				
所在地	荒川一丁目53番20号(心身障害者福祉センター併設)				
部署名	環境清掃部環境課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和47年	140,000		
	増改築①	昭和55年	130,000		
増改築②	平成23年	150,000			
併設施設					
竣工年月日	昭和47年		区職員	その他	
供用開始年月日	平成21年2月1日		職員数	33人 0人	
構造	鉄筋コンクリート造		階層	地上3階	
面積	敷地面積		2,386㎡		
	延床面積		1,107㎡		
設置目的・経緯	環境先進都市を目指し、環境学習や情報提供など、環境施策を総合的に推進するための区民等の自主的な環境活動の拠点				
関連部署	福祉部障害者福祉課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立環境学習情報センター条例				
駐車場の状況	10台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	45台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	その他	2階部分は直営。 3階はNPO法人エコ生活ひろめ隊に委託		期間	令和5年4月1日 令和6年3月31日	から まで
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境の保全に関する情報の収集及び提供に関すること ・環境の保全に関する講演、講座等の開催及び活動の場の提供に関すること ・環境の保全に関する学習及び環境教育に関すること ・環境の保全に関する活動を行う区民及び団体の支援に関すること 					
対象者	一般区民ほか					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後5時(ただし、午後9時までは環境研修室等の貸出しあり)				
	休日	土・日・祝日、年末年始(ただし、月1回半日 日曜(又は土曜)開館)				
施設基本データ等	年間利用者数(人)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	開館日数(日)	15,496	8,990	12,433	14,700	5,680
	講座参加者数(人)	252	253	255	256	251
	講座開催数(回)	848	319	449	412	374
		62	53	72	66	55
に指定 に係る 管理 費用						
備考	利用者数は、研修室、環境実習室、環境情報提供コーナー及び環境活動支援コーナーの数値である。講座の参加者数及び開催数は、区の主催事業(委託による実施を含む。)に関する数値である。					

III 財務諸表

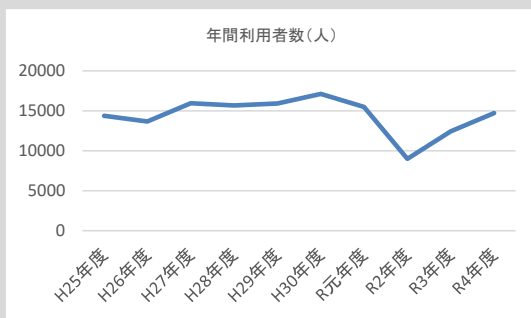
(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費			161,784	177,702	15,918	地方税等			0	0	0
	物件費			13,614	14,392	778	国庫支出金			0	0	0
	維持補修費			910	715	▲195	都支支出金			0	0	0
	扶助費			0	0	0	分担金及び負担金			0	0	0
	補助費等			0	0	0	使用料及び手数料			432	435	3
	減価償却費			6,825	6,785	▲40	その他			40	▲23	▲63
	不納欠損・賞引当金繰入額			0	0	0	行政収入合計(a)			472	412	▲60
	賞与・退職給与引当金繰入額			48,723	17,419	▲31,304	行政収支差額(a)-(b)=(c)			▲231,384	▲216,601	14,783
	その他行政費用			0	0	0	金融収支差額(d)			0	0	0
	行政費用合計(b)			231,856	217,013	▲14,843	通常収支差額(c)+(d)=(e)			▲231,384	▲216,601	14,783
特別費用(g)			0	0	0	特別収入(f)			0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)			0	0	0	当期収支差額(e)+(h)			▲231,384	▲216,601	14,783	
貸借対照表	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	流動資産			0	0	0	流動負債			8,554	9,113	559
	不納欠損引当金			0	0	0	還付未済金			0	0	0
	その他の流動資産			0	0	0	特別区債			0	0	0
	有形固定資産			272,065	265,981	▲6,084	賞与引当金			8,554	9,113	559
	土地			265,981	265,981	0	その他の流動負債			0	0	0
	建物			279,385	279,385	0	固定負債			94,328	103,937	9,609
	建物減価償却累計額			▲273,797	▲279,385	▲5,588	特別区債			0	0	0
	工作物等			7,997	7,997	0	退職給与引当金			94,328	103,937	9,609
	工作物等減価償却累計額			▲7,501	▲7,997	▲496	その他の固定負債			0	0	0
無形固定資産			0	0	0	負債の部合計			102,882	113,050	10,168	
建設仮勘定			0	2,830	2,830	正味財産			170,585	156,462	▲14,123	
その他の固定資産			1,402	701	▲701	正味財産の部合計			170,585	156,462	▲14,123	
資産の部合計			273,467	269,512	▲3,955	負債及び正味財産の部合計			273,467	269,512	▲3,955	
備考	行政費用の主要部分は、環境課職員の人件費である。物件費は、エコセンターの管理運営に係る委託料、消耗品費等である。その他の固定資産は、令和元年度に購入した小型乗用電気自動車である。行政収入の使用料及び手数料は、エコセンター敷地の目的外使用料である。											

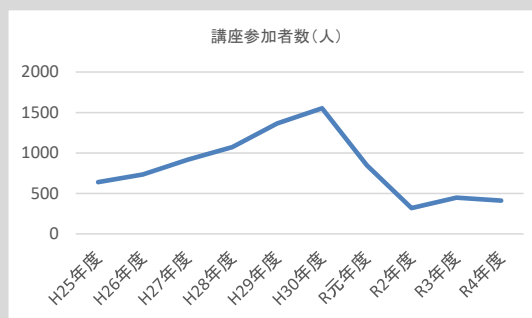
指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標	有形固定資産減価償却率(%)	94	96	98		
	1㎡当たりコスト(円)	162,592	156,030	190,358		
	人にかかるコストの割合(%)	89	88	91		
	開館1日当たりコスト(円)	785,861	751,166	909,239		
	利用者1人当たりコスト(円)	13,052	21,140	18,648		
	区民1人当たりコスト(円)	929	891	1,087		
評価指標等						
備考	新型コロナウイルス感染症拡大の防止と両立した社会活動の再開に伴い、本施設内での講座等の件数が増加したことにより、令和3年度の利用者数が増加し、利用者1人当たりのコストが減少した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	年間利用者数(人)	実績値 15,496	目標値 11,751 実績値 8,990	9,630 12,433	14,300 14,700	5,680
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<p>○ 広く区民にエコセンターを知ってもらう方が必要である。</p> <p>○ 環境に興味の薄い区民、子どもへの環境意識を向上させる取組が必要である。</p> <p>○ 脱炭素や海洋プラスチック、SDGs等の新たなテーマについて、時代に即した効果的な展示等での普及・啓発活動が必要である。</p> <p>○ 環境活動支援コーナー等の運営及び緑のカーテン普及啓発業務をNPO法人に委託することを通じて、環境活動の担い手の育成と支援を図るとともに、区民同士の環境情報交換の場となっている。</p> <p>○ 心身障害者福祉センター(荒川たんぼぼセンター)との複合施設であるため、環境・福祉両分野の連携・協働を図っている。</p> <p>○ 街なか図書館の一つとしても機能させつつ、他の施設、他の団体との連携・協働を図りながら、効果的な取組を行っていく。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○ 子どもから大人まで全ての世代の興味を引き付ける展示やイベントの充実を図っていく。</p> <p>○ 子どもが楽しく興味を抱くような、自然観察や生物多様性に関する事業を積極的に展開する。</p> <p>○ 脱炭素社会の実現など新たな課題に的確に対応できるような機能の充実を図る。</p> <p>○ 環境活動の担い手の育成のため、環境活動の拠点として活動の輪が広がるよう充実を図る。</p> <p>○ イベントや環境学習農園での自然との触れ合いなどを通じ、環境・福祉両分野の更なる協働に取り組んでいく。</p>					
議会、利用者等からの意見	<p>平成22年1定 エコセンターの今後の展望について</p> <p>平成26年度11月会議 エコセンターの畑を拠点にした食と農の祭典について</p> <p>平成26年度決特 エコセンターの機能を新リサイクルセンターに集約を</p> <p>平成28年度11月会議 リサイクルセンターとの連携について</p>					



新型コロナウイルス感染症拡大の防止と両立した社会活動の再開に伴い、令和4年度の環境活動支援コーナーや研修室等の利用者数は回復傾向にある。



新型コロナウイルス感染症拡大の防止と両立した社会活動の再開に伴い、本施設内での講座等が増加したため、令和4年度の参加者数は回復傾向にある。